

記入例

事業に関する調書

団体名

せんと自治会

1. 事業名	SNSを活用した安全・安心な地域づくり事業
2. 新規事業、 既存事業の別 (いずれかに をつけてください)	<p>(1) .新規事業 (2) .既存事業 (令和5年度の本補助金の選定事業でない) (3) .既存事業 (令和5年度の本補助金の選定事業であり、かつ令和5年度の申請日以前から実施) (4) .既存事業 (令和5年度の本補助金の選定事業であり、かつ令和5年度の申請日以前から実施していない)</p>
3. 連携による拡充内容について 連携により、どのように、質的な拡充 (内容の充実 等)、又は量的な拡充(参加者の大幅増 等)を図るのかについて記入してください。 上記2(2)又は(3)に該当する場合は、必ず記入してください。 上記2(4)に該当する場合は、必ずしも記入しただけ必要はありませんが、拡充内容があれば、記入してください。 上記2(1)に該当する場合は、記入不要。	<p>新たに、防災系NPOと連携を図ることで、災害時を想定した、LINEによる安否確認訓練を新たに実施することで、地域の災害に対する備えの向上を図る。</p>
4. 補助終了後の事業継続・発展について 補助終了後も、事業の継続を予定されている場合は、どのように継続・発展していくのかについて(財源、執行体制、今後の展開等)、必ず記入してください。 記入がない場合は、補助終了後の事業継続の予定がないと判断させていただきます。	<p>連携団体には、引き続き連携を呼びかけるとともに、ノウハウの蓄積により、自治会自ら、事業実施をできるようにする予定。また、自治会の自主財源を活用するとともに、地域の事業所・商店から寄付を募ることで、財源を確保し、補助終了後も、事業継続をしていく予定。 将来的には、本自治会だけでなく、近隣の自治会と合同でスマホ講座や安否確認訓練を実施することで、地域全体の安全・安心なまちづくりを進めていくとともに、経費の削減を図っていく予定。</p>
5. 補助事業に選定されなかった場合の対応について (いずれかに をつけてください)	<p>(1) 計画どおり実施 (2) 規模や内容を見直して実施 (3) 実施しない</p>

「既存事業」とは、従前から申請団体で取り組んでいる事業をいいます(例えば、コロナ禍で中止となっていたが、以前は取り組んでいた事業を含む)。「新規事業」は、「既存事業」以外の事業のことをいいます。

枠が足りない場合は、行幅を適宜、広げていただいて記入ください。
適宜、資料を添付してください。(任意)